

歯科材料 03 義歯床材料
管理医療機器 義歯床用アクリル系レジン（コード 70824000）
フローイング

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系のモノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本材は、下記品目より構成される。

品目名	形状	容器	組成
粉材*	粉末	ボトル	ポリメチルメタクリレート、BPO、その他
液材	液体	ガラス瓶	MMA, TMPT, その他

*：ファイバーピンクとアイボリーの 2 色あり。

本材は、常温重合レジンで、BPO と三級アミンによる分解活性化により重合硬化する。

【使用目的又は効果】

メタクリル酸エステル単量体及び重合体等を主成分とし、各種の重合法によって義歯床を作製するために用いる材料をいう。

【使用方法等】

操作方法

- （1）計量
計量器で、粉材と液材を計量する。標準粉液比率は、粉 10g に対して液材 6 mL である。
- （2）混和
必ず液材を先にミキシングカップの中に入れ、一度に粉材を入れる。次に、パイプレーターで脱泡しながら、スパチュラを用いてゆっくりかき混ぜる。
- （3）注入
レジンが流し込み口を封鎖しないよう連続して流し込む。（攪拌後 2～3 分は流動性があるから、その間に流し込む。）
- （4）重合
流し込み口のレジンにつやがなくなった時点で、加圧重合器に入れ、重合を行う。（加圧重合器の重合条件は、45℃, 3 気圧, 10 分を標準とする。）

専用フラスコによる複製義歯の製作法

- （1）義歯の印象採得
義歯複製用フラスコを使用し、義歯の印象を採る。
- （2）歯冠色（アイボリー色）レジンの注入
粉材 10 g に対し、液材 6 mL の混和比で、気泡が混入しないよう注意して速やかに混和する。次に、歯冠部に歯冠色レジンを注入し、もち状になってから歯冠部と歯肉部との移行部の形態を、綿棒等を用いて修正する。
- （3）歯肉色（ファイバーピンク色）レジンの注入
フラスコを閉じ、流し込み口より歯肉色レジンを注入する。
- （4）加圧重合
通常の複製義歯の製作の場合は、この工程を省略する。より高強度の複製義歯を希望する場合は、この工程を加える。
- （5）研磨
硬化後、フラスコより取り出し、バリを取り、通法に従い研磨する。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意
 - ①本材の硬化物を研削、研磨を行う際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所集塵装置、公的機関が認定した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸引しないよう注意すること。
 - ②本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）を行うこと。
 - ③液材は可燃物であるから、火気に注意すること。
 - ④液材は、容器の蓋を取ったまま放置しないこと。
 - ⑤本材は、[使用目的又は効果] の項に記載の用途以外には使用しないこと。
 - ⑥本材は、歯科医療有資格者以外には使用しないこと。

2) 重要な基本的注意

- ①本材の使用により、発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ②本材又はメタクリル酸系のモノマーに対して、発疹、皮膚炎等の過敏症のある術者は、手袋等を用いて直接触れないようにすること。また、本材の使用により、発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診断を受けること。
- ③本材が軟組織、皮膚に付着したり、目に入らないように注意すること。軟組織、皮膚に付着した場合には、アルコール綿球等で拭き取り、多量の水で洗浄すること。また、目に入った場合には、直ちに多量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。

【保管方法及び有効期限等】

保管方法

- ・本材は、火気、高温、多湿又は直射日光を避けて 0～25℃ で保管すること。
- ・同一保管場所に多量に保管しないこと。また、使用及び保管場所には、消火器を備えること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように、適切に保管・管理すること。

有効期限

本品の有効期限は 3 年とする。

[自己認証（当社データ）による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者名：睦化学工業株式会社

住所：〒510-0804 三重県四日市市万古町 8 番 9 号

電話番号：059-331-2354

受付時間：9:00 ～ 17:00（休祭日を除く）